



《将来に向けた取組方針》

山陽特殊製鋼は、「社会からの信頼」、「お客様からの信頼」、「人と人との信頼」の確立を通じて経営理念「信頼の経営」の実践を図っており、「持続可能な社会の実現への貢献」を目指す上で、ESGの取り組みは欠かすことができないものと考えています。山陽特殊製鋼は、生物の恵みを得ながら人間社会が存続し続ける「持続可能で自然と共生する社会の実現」は、人類の存続にも影響を与える重要な課題であると考えています。山陽特殊製鋼は、森林や里山などの保全活動や地域緑化活動への参加等を通じて生物多様性保全活動を推進します。

《具体的な取り組み事例》

企業の森づくり活動（「さんとくん 未来の森」活動）

- ・2024年5月より、兵庫県、兵庫県緑化推進協会、姫路市と連携し、企業の森づくり活動を開始しました。
- ・姫路市立藤ノ木山自然公園内の森林（1.46%）を活動場所とし、ナラ枯れや照葉樹林化がみられる里山林の光環境を改善し下層植生等の回復・保全を図るための木々の除伐活動を行っています。（写真①）



欧州子会社 Ovako における生物多様性と野生生物の保護活動

- ・OVAKO（Hofors工場）では、希少な植物種を保護するために、工場内の一部を放牧地として管理しています。そこには牛が放牧されており、草を食み、排泄物が植物の肥料となり、生態系が健全に維持されています。（写真②）



インド子会社 SSMI における植樹活動

- ・インド子会社 SSMI では、6月の世界環境デーに合わせて、環境保護の重要性を啓発し、持続可能な未来を目指す取り組みの一環として植樹活動を行っています。社員が参加し、地域の緑化に貢献しています。（写真③）



《今後の課題等》

- ・生物多様性への配慮に関して従業員全員の意識と理解を深め、地域や地元自治体と協同して生物多様性保全活動を維持・拡大していくことです。